

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立西部特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	125名

1. 使用状況

寄贈物品名	プラネタリウムドーム
使用学年及び人数	小学部4年生 1名
使用頻度	1回
使用状況	<p>教科学習を行っている教育課程の児童が、理科の授業の一環として使用した。小学校4年生の『星の明るさや色』の単元で使用し、教室内にドームを設置した。(投影機は職員の私物を使用した)</p>
物品の使用による変化や効果	<p>プラネタリウムをドーム内に設置し、投影することで、こと座やわし座などの星座や、夏の大三角形の様子を立体的に見ることができた。星座板では平面的にしか見ることができないので、ドームを使えたことで、実際に夜空を見上げている感覚であったと児童が話していた。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>5・6年生の理科の学習でも天体を扱うため、今後も使っていきたい。また、障害が重度の児童生徒には、光遊び等の教材としても使用していきたい。ただ、車いすやバギーに乗ったままドーム内に入ることが難しく、座位や抱っここの姿勢が取れないと、長時間の入場は体への負担が大きいかもしれない。送風機の音も大きいため、音に敏感な児童生徒には配慮が必要である。</p>
その他希望や所感など	

